

障がい者サッカーを活用した教育プログラムの開発・実施

株式会社マネジメントソリューションズ 社員ボランティアの皆さん

【パートナー団体：一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟】

※パートナー団体からの申請

■活動の目的:

日本障がい者サッカー連盟(JIFF)が理念で掲げる共生社会の創造には、障がいのある当事者向けの活動のみならず、社会のマジョリティである健常者向けの活動が不可欠であるとの考えから、障がい者への見方・マインドセットを変える教育事業「JIFF インクルーシブ教育プログラム」を開始しました。本プログラムは、差別や偏見が生まれる前の小・中学生に向けて、障がい者サッカーを活用し、楽しみながら障がい理解や多様性への気づきを提供することを目的としています。

■活動を始めたきっかけ(2021年11月開始):

株式会社マネジメントソリューションズは、プロジェクトマネジメントの支援および研修プログラムの開発・実施等を本業としています。2018年11月から本連盟の活動全体を支援いただけてきましたが、本教育プログラムの新事業立ち上げにあたり、その理念および事業内容に共感いただき、2021年11月からプロジェクトマネジメント支援の知見・ノウハウの提供と人的支援(企業ボランティアによる協力)をしていただいています。

■活動の内容(企業ボランティアの実数 11名):

「JIFF インクルーシブ教育プログラム」は、障がい者サッカーの選手が講師となり、小・中学校のクラスごとにオンラインまたは対面で授業をします。誰もが楽しめるよう道具・ルールが工夫された障がい者サッカーの話や、選手自身の競技中または日常生活での工夫の紹介、さらに講師と一緒に身体を動かすゲームなどを通じて、誰も排除しないインクルーシブな空間を作るための工夫や対話の大切さを伝えています。また、クラスごとに少人数で全員が体験できるようにすることで、子どもたち全員が障がいや多様性に対する理解を深められるようにしています。



授業の実施に向けて本連盟の事務局では、プログラムの開発、講師の発掘および育成、実施校の募集に向けた広報活動、実施校との授業に向けた調整、授業後のアンケート調査と分析、協賛企業の獲得など様々な業務を行っており、これら一連の業務すべての部分で企業ボランティアの方々に関わっていただいています。

例えば、マネジメントソリューションズ社はプロジェクトマネジメントを専門とされる企業であるため、事業の進捗の徹底した管理や、その知見と経験から、事業に対する客観的なフィー

ドバックをいただき、改善のための資料や体制作りなど、一緒に取り組んでもらっています。

また、授業の内容について新しいアイデアをいただいたり、実際に授業運営に加わっていただいたりと、週 1 回の定期的なミーティングと共同作業を通じて、この事業を包括的に支えていただいています。

現場スタッフも企業ボランティアがもつ専門性に触れることで、多くの学びを得る機会となり、単に授業をするだけでなく、広い視点で事業を捉えるようなマネジメントの視点が育ってきました。非営利団体と企業ボランティアが共に活動することで現場スタッフの成長が促され、よりよい事業展開とプログラム提供につながっています。

■活動の成果:

マネジメントソリューションズ社の協力を得て、2021 年度は教育プログラムの開発およびトライアルを 34 件実施し、1,282 名の子どもたちが体験した。そして、翌年度の事業化に向け、企業にアプローチし、同社経由で企業 2 社に協賛いただけることになった。並行して自治体や教育委員会等へ実施校の募集を進め、2022 年度は 100 件を超える申込みをいただき、3,500 名の体験が見込まれます。他にも授業運営や講師育成のマニュアル化や SNS による情報発信を始めるなど、持続可能な体制と仕組みを構築できました。

■強調したいこと:

本連盟の理念である共生社会実現のためには、多様なステークホルダーが分野横断的に協力し合い、共に歩みを進めていく必要があります。その点で今回非営利団体と企業がとが共に一つのプロジェクトの中でチームを組んで活動できる機会をつくれたことは非常に大きな一歩でした。

また、企業側にとっても、社会に貢献できるだけでなく、この「JIFF インクルーシブ教育プログラム」に関わっていただくことで、対話することの重要性と対話の手段の豊富さを学び、企業内でのコミュニケーション促進につながったという声をいただいております。

マネジメントソリューションズ社は、本連盟でのボランティア活動を内定者インターンの活動



の場としても活用しており、企業の内定者インターンの方が入社前からプロジェクトマネジメントをする経験が得られるという利点があります。

このように非営利団体側のみ利点ではなく、ボランティアをする企業側にとっても利点が得られるような仕組みになっていることで、企業側が参画をしやすい、かつ、主体的に活動できるようになり、企業側のリソースやアイデアが活用されやすくなっているのが本プログラムの特徴です。

第 8 回企業ボランティア・アワード『インクルーシブ社会奨励賞